

## 祭りで出会ったつぶやきから ～地域とともに生きる子どもたち～

学校長 日暮 勤

真夏の太陽が照りつける毎日です。子どもたちは帽子をかぶったり、首を冷やすタオルをつけたりして、汗をかきながら登校してきます。そんな子どもたちの「おはようございます」の声が青い空に響く光景は、暑さの中にさわやかな空気を届けてくれます。



夏休みを直前に、色々な地域でお祭りやお神輿巡幸が行われました。

私も2日間、職員と町内を巡りたくさんの方と話しました。

この2日間で、町内会など様々な関係者が汗を流して行事を運営する姿を目にしました。その中で、六浦中の生徒たちが授業として地域の祭りに参加し、体育着姿でその準備や運営に関わっていました。私が知っ



ている中1の生徒たちも、大人の指示や自らの判断で進んで働いていました。その姿は小学生だった昨年よりも大人に見えました。この祭りの中で、その中学生たちの心に響くつぶやきに出会うことができました。



夏祭りでたくさんの子どもたちがラムネを買って、開ける苦労を楽しみながら喉を潤す中、汗水流して働いている生徒の



「ラムネ飲みたいけど私たち、今働いているからダメなんだ。」

と私につぶやく姿がとても印象的でした。「これ手伝って。」という地域の方からの声に素早く反応して働く姿とこの言葉が私の中でリンクしました。自分たちがここにいる意味をよく理解して自制し、自分たちの役割と責任を進んで果たそうとしていることがよく伝わってきました。



また、神輿の巡幸では一緒に担ぐ小学生に負担をかけないように、たくましく神輿を担ぐたくさんの中学生の姿がありました。その神輿で拍子木を打ち、笛を吹いて先導している方が、卒業生の実姉と私は気づいたので、「お姉さんかっこいいね」とその生徒に伝えました。その時に目を輝かせながらつぶやいた

「私も大人になったらあれをやりたいんだ。」



という一言が私の胸を熱くしました。地域で活躍する家族の姿に憧れ、姉のように地域に貢献しようとする気持ちが表れた素直で力強い言葉です。

このような中学生の姿を地域の方々には本当に喜んでいました。ある町内会長さんは

「中学生が祭りの運営に参加し、地域や参加する子どものために働いてくれて本当にありがたい。このようなことが伝統となれば、やがて中学生は大人として、小学生は中学生として、この地域で地域の人や行事を支えてくれる存在になってくれる。それを期待している。」

と目を細めながらつぶやいていました。今、地域を支えている方々の期待は子どもたちです。他世代が顔の見える関係でつながり、前向きに進む子どもたちを導き、共に生きようとする方の実感のこもった言葉はずっしりと私の中に入ってきました。

瀬ヶ崎小の子どもたちは4年ぶりの温かな行事で、たくさんの憧れに出会いました。中学生や地域の方々が行事に関わる姿に憧れを抱き、「中学生になったら、大人になったら」と未来の自分に思いをふくらませていたことでしょう。

私は祭りのあと、出会った方々からの心に響くつぶやきをふり返し、またとても温かくなりました。各地域で子どもたちが安心して楽しめる行事をつくってくださった関係の方々、中学生に心から感謝の気持ちを伝えたいと思います。



本当にありがとうございました。